

市民との意見交換会報告書（概要）

相手先	星城高等学校仰星コース1年生
開催日時	令和元年12月6日（金）14時50分～16時20分
開催場所	星城高等学校6階会議室
相手方人数	星城高等学校仰星コース1年生56人 星城中学校 約10人、教員 約10人
議員人数	議員19人・議会事務局2人
意見交換会で出された意見・要望と議会回答	<p>1. 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊明市議会議長 三浦 桂司 ・星城高等学校校長 四方 元様 <p>2. 市議会の活動について（やさしい豊明市議会のおはなし）</p> <p style="padding-left: 40px;">建設文教委員会委員長 清水 義昭</p> <p>3. 星城高等学校SGL活動について</p> <p style="padding-left: 40px;">星城高等学校仰星コース1年 岡野 優月様</p> <p>4. 意見交換（概要）と回答について</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）少子高齢化の実態について</p> <p>○若い世代の人が住みやすいまちが大事だと思う。就職しやすい、大型ショッピングモール、商業施設などが必要ではないか。周りの人10人に質問したら、魅力がないと答えていた。大きなショッピングモールがほしい。</p> <p>（議会回答）</p> <p>豊明市には大型ショッピングセンターはありませんが、小規模の食品スーパーは多く、日常生活上は住みよい町と認識しています。議会としても今後若い世代の方が魅力を感じる街づくりを目指します。</p> <p>○保育士は給料のわりに業務量が多く、年齢が上がっても年収が伸びない。もっと保育士の給料を増やせないか。</p> <p>（議会回答）</p> <p>豊明市立保育園の保育士の給料は豊明市の職員と同じ給料が支給され、人事院勧告に基づきベースアップしています。又、パートの保育士も令和2年度から市の職員と同じ給料表に基づいた時間給とボーナスが支給され、処遇改善しています。</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）多文化共生</p> <p>○日本の社会で多文化共生が進んでおり、子どもたちの間においても必要と考える。外国籍の子どもが日本に来ると宿題ができなかったり、クラス等で孤立したり、いじめの標的になってしまう事例が多く残念。教育</p>

委員会の人が謝っている姿しか見ていなく、いじめを防ぐために迅速に動いて事前に対応しましたという話がない。もっと多くの大人がかかわってほしい。

(議会回答)

外国籍の子どもたちがクラスで孤立しないように、又、宿題が理解できるためには、まず日本語の理解が必要との認識に立ち、豊明市は外国籍の子どもたちを対象に、日本語初期指導（プレスクール）を二村台団地で開催、生徒・児童だけではなく、就学前の園児に対しても日本語を教えています。

○総合福祉会館で日本語教室を開いているという話ですが、もっと広報してほしい。さらに、日本語教室を増やしてほしい。

(議会回答)

総合福祉会館において、豊明国際交流協会が金曜日・土曜日の午前と午後に日本語教室を開催しています。また、子どもたちを対象にした日本語学級も双峰小学校で週1回開催しています。日本語教育の広報活動を強化するよう市当局へ要請しておきます。

○豊明市は、ブラジル人、ベトナム人を含む東南アジア人が多いが、看板にポルトガル語やベトナム語の記載がない。看板に多くの外国語の表記が必要なのではないか。

(議会回答)

要望として市当局へ伝えます。

(3) 魅力あるまちづくりで生徒が果たす役割について

○地域の住民に知っていただきたいし、ボランティアの募集に効果を発揮すると思われるので、SNSを活用して、地域の住民にSGLの活動を発信してほしい。

(議会回答)

豊明市の広報紙「広報とよあけ」が最も読まれていると判断しますので、地域の住民の皆さん方への周知は、「広報とよあけ」が効果的と判断します。星城高等学校のSGL活動とボランティア活動に関する掲載記事がいただければ議会から市当局へ要請します。

○豊明市は学生が参加できるような政策が少ないように思う。学生の元気さなどを地域の方に伝えられるので、もっと学生が豊明市に参加する、関わる機会を創ってほしい。

(議会回答)

豊明市には星城高等学校、豊明高等学校の2校あります。元気な高校生の皆さん方の地域活動やボランティア活動への参加を歓迎します。

(4) 魅力あるまちづくりで議会が果たす役割について

○安全性を高めるということで、音の出る信号機をもっと導入してほしい。

(議会回答)

要望として市当局へ伝えます。

○前後駅から星城高校までの道で自転車が歩道を走ることを多くみる。歩道を歩いていて一度自転車と衝突したことがある。安全のため自転車専用レーンを整備してほしい。

(議会回答)

自転車専用レーンの整備は道路幅との関係、当該道路の自転車の利用台数等の課題も多く、議会としては自転車専用レーンの整備は困難と認識しますが、貴重なご意見として市当局へ伝えます。

○豊明市の主要道路には街路灯があり明るいですが、少し外れるとすぐ暗くなる。部活動などで遅くなると暗く、非常に危険を感じるため高校周辺に街路灯を整備してほしい。

(議会回答)

街路灯の設置は地域の区長要望事項のため、議会から高等学校が該当する地域の区長へ要請します。

○魅力あるまちづくりを目指すために、江戸時代にあったような目安箱のようなものを置いて、市の問題や住民の意見を聞いてはどうか。

(議会回答)

豊明市は、市民の方からのご意見やご提言をお聴きする「市長へのeメール」「市長への手紙」を設け、住民の皆様の意見等を聴いています。

(5) その他の意見

○豊明市は坂道が多く、高齢者も増えていることから、坂道に手すりを設置するのはどうか。

(議会回答)

豊明市は坂道が多くあります。場所が特定できるなら議会としても対応します。

○魅力あるまちをどのように見せるかが大事だと思う。外国人の方に魅力あるものをどう伝えるかも大事だと思う。そういった意味で外国語表示を増やしてほしい。

(議会回答)

豊明市の魅力などを伝える広報紙「広報とよあけ」は「外国語版広報とよあけ」として4か国語で発刊しています。

○なぜ魅力あるまちづくりをするのが疑問。自分は不自由なく暮らしているのに必要ないと思ってしまうが、高齢者や外国人の方、身体が不自由で生きづらいつ感じている人もいる。こういった方々を含めて笑顔で

暮らしていけるまちづくりが大事だと思う。そのために、自分たち若い人がすべきことは、当たり前のことを当たり前にする。ごみが落ちていたら拾ったり、人を誹謗中傷することやスマートフォンを見ていて事故を起こすなどということをしてしない。議員の皆さんも何ができるのか考えていただきたい。

(議会回答)

「当たり前のことを、当たり前にする」との心情に敬意を表します。議員もそのことを常に心掛け実践するようにします。

- 自分は外国籍で、最初は日本語がわからなくて困った。宿題も見えてくれない、遊ぶ相手もない時期があり児童や生徒だけでなく、親たちも同じ国の方たちなどで集まる場所をつくって欲しい。また、日本語教育を広める方法を考えてほしい。

(議会回答)

豊明市は外国籍の方が3200人を超え、増加していることから、これからも外国籍の方への日本語教育の強化を市当局へ伝えます。

- 自分は他の国のことばを学ぶのは難しい。同様に、外国の方が日本語を学ぶのは難しいと思うので、遊び等を通じ日本語が習得できると楽しく学べると思う。

(議会回答)

要望として市当局に伝えます。